

各位

株式会社 ティーツー

2022年2月期連結業績予想に関する補足説明資料 前期特需要因を除いた2022年2月期連結業績は順調に増収増益基調

「リユースで地域と世界をつなぐ」をグループビジョンとして、全国に「古本市場」「ふるいち」などを展開する株式会社ティーツー(岡山県岡山市、代表取締役社長 藤原克治 JASDAQ7610 <https://www.tay2.co.jp/>)は、2021年4月14日開示の2021年2月期決算短信(連結)にて、2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)を公表しましたが、その補足説明を下記のとおりお知らせいたします。

記

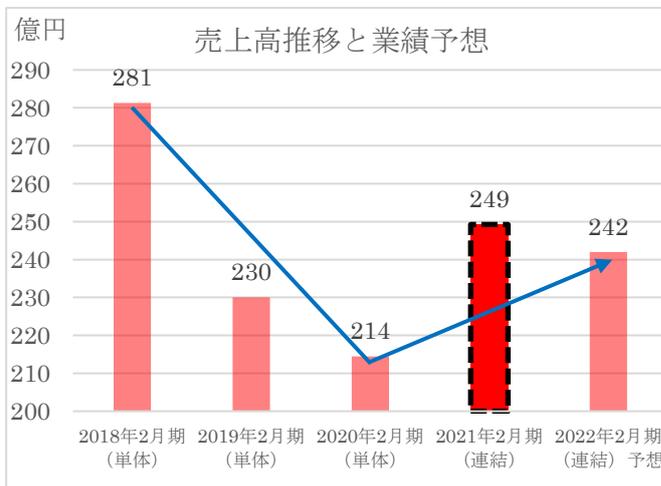
1. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	242億円	5億円	5億円	2億5千万円

2. 売上高の連結業績予想

2021年2月期(連結)は、2010年2月期(連結)以来11年ぶりに増収(右グラフの点線箇所)で着地することができましたが、当期の結果には、新型コロナウイルス感染症の影響による特需要因が強く反映されております。

2022年2月期(連結)の業績予想にあたっては、上記の特需要因を排除した結果、前期に比べて減収の予想となっておりますが、経年で見えた場合には10年来続いてきた減収基調を脱し、順調にトップラインを回復する過程にあります。なお、当社は近年事業の再構築を行う中で、新品の取り扱い重視から中古品の取り扱いを主体とした利益重視の経営方針に舵を切ったことも昨年対比の売上数値トレンドに影響を与えております。

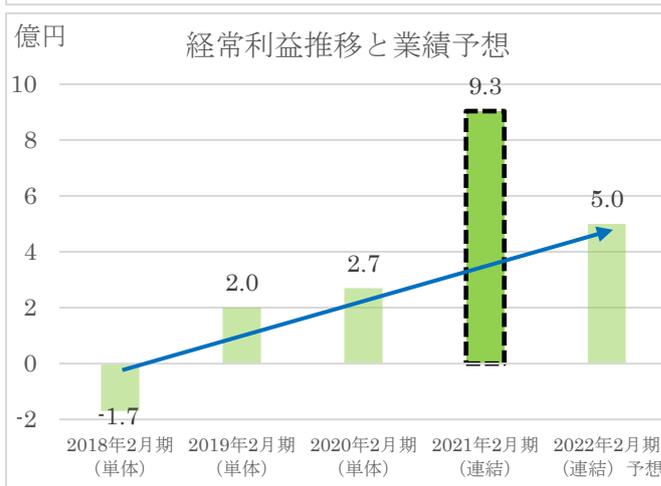


3. 利益面の連結業績予想

同じように利益面においても、2021年2月期(連結)は特需の影響を強く受け、2022年2月期(連結)の業績予想は前期に対して減益予想ですが、これも特需要因を差し引けば、かつての赤字体質から順調に右肩上がり回復していることが示されています。また、当該業績予想には新規出店計画等前向きな投資コストを積極的に織り込んでおります。

上記のとおり、2022年2月期(連結)は、減収減益予想ではありますが、本質的には増収増益基調にありますので、その旨お伝えするとともに、予想を上回って2022年2月期(連結)を着地させられるように、鋭意努力してまいります。

以上



【株式会社ティーツー(JASDAQ:7610)会社概要】

設立 : 1990年4月
 代表者 : 代表取締役社長 藤原 克治
 資本金 : 15億2,945万円(2021年2月末現在)
 本社 : 〒700-0974 岡山県岡山市北区今村650番111
 事業内容 : 書籍、家庭用テレビゲーム、トレーディングカード、ホビー、スマホ、CD、DVD、衣類等の販売及び買取
 URL : <https://www.tay2.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】株式会社ティーツー IR担当 TEL:048-933-3070 E-mail:ir@tay2.co.jp